

平成 29 年度物品・役務等に係る契約適正化監視等委員会
定例会議審議概要

| | |
|-----------------|--|
| 開催日及び場所 | 平成 29 年 10 月 26 日（木） 環境省省議室 |
| 出席委員 (50 音順) | 大久保規子（大阪大学大学院法学研究科教授）、野村豊弘（日本エネルギー法研究所理事長）、蓑輪靖博（福岡大学法学部教授）、森寫昭夫（名古屋大学名誉教授） |
| 開催趣旨 | 環境省が発注する物品・役務等に係る契約について、契約方式を含む契約過程や契約内容の透明性の確保、予算執行の効果的な実施など環境省における公共調達の一層の適正化を図る観点から、平成 28 年度に当省が締結した物品・役務等の契約の中から抽出した事案の審議を行った。 |
| 審議案件 | <p>総数 10 件</p> <p>○競争入札方式（6 件） <総合評価落札方式></p> <p>① 平成 28 年度インドネシアにおける地方適応計画策定のための気候変動影響評価支援業務</p> <p>② 平成 28 年度瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査検討業務</p> <p>③ 平成 28 年度から平成 32 年度までの環境省ネットワークシステム等に係る回線業務</p> <p>④ 平成 28 年度 PCB 廃棄物等の掘り起こし調査効率化に関する調査業務</p> <p>⑤ 平成 28 年度バイオ燃料利用体制確立促進事業委託業務</p> <p><最低価格落札方式></p> <p>⑥ 平成 28 年度水俣条約世界モニタリング計画協力・支援のための調査・検討業務</p> <p>○随意契約（1 件）</p> <p>⑦ 平成 28 年度酸性雨モニタリング推進業務</p> <p>○参加者確認公募方式（1 件）</p> <p>⑧ 平成 28 年度ジフェニルアルシン酸及びその関連物質を含有する地下水試料採取等業務</p> <p>○不落・不調随意契約（2 件）</p> |

| | |
|--------|--|
| | <p>⑨ 平成 28 年度地方公共団体及び地域金融機関に対する低炭素化プロジェクトの研修等委託業務</p> <p>⑩ 平成 28 年度地球温暖化防止コミュニケーター等養成委託業務</p> |
| 委員の意見等 | <p>別紙のとおり（抽出された個々の契約案件についての意見具申、または勧告はなかった。）</p> <p>なお、参考情報として、環境省における一者応札の現状と事業者へのアンケート調査により問題点を把握する取り組みについて報告があり、業務の質を念頭に置きつつ、個別案件毎に要因を分析することが重要であるというコメントがなされた。</p> |

(別紙)

委員からの意見・質問、それらに対する回答等

| 抽出案件 | ■意見・□質問 | 回 答 等 |
|---|---|--|
| 総合評価落札方式 | | |
| ①平成28年度インドネシアにおける地方適応計画策定のための気候変動影響評価支援業務 | <p>□入札説明会に参加したものの、入札に参加しなかった業者があるが理由は把握しているか。</p> <p>□特殊な知識が必要ということはあるか。</p> <p>■他の国に展開する際にはオープンデータ化等を行うなど競争の機会を増やす検討を行っていただければと思う。</p> | <p>□情報収集をされる業者もあったのではないかと考えている。</p> <p>□研究者間、大学間のネットワークを持つなど、現地のデータを取得出来る必要がある。</p> |
| ②平成28年度瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査検討業務 | <p>□昨年度と比較して応札者が減っているが。</p> <p>□予定価格の設定は適切であったか。</p> | <p>□昨年度の同事業における応札者数や他の類似事業への応札状況を考慮しても、一者応札になることは想定していなかったものである。</p> <p>□昨年度の同事業と予算額は同額であることに対し、業務内容は増加している。厳しい設定であったかもしれないが落札いただけたところである。</p> |
| ③平成28年度から平成32年度までの環境省ネットワークシステム等に係る回線業務 | <p>□低落札率についてどのように分析しているか。</p> <p>□予定価格の設定はどのようにおこなったの</p> | <p>□過去に他府省の類似業務をいくつか請け負っており、そのノウハウから業務を効率化できたのではないかと考えている。</p> <p>□技術進歩を考慮し、前回（4年前）の発注を参考とせず、市場価格により設定した。</p> |

| | | |
|--|--|---|
| <p>④平成 28 年度 PCB 廃棄物等の掘り起こし調査効率化に関する調査業務</p> <p>⑤平成 28 年度バイオ燃料利用体制確立促進事業委託業務</p> | <p>か。</p> <p><input type="checkbox"/>低落札率についてどのように分析しているか。</p> <p><input type="checkbox"/>年度途中に規模が半分以下に縮小されている理由は。</p> | <p><input type="checkbox"/>予定価格は市場価格を考慮して設定しており、また、事前に入手した見積書も業者間に大きな差はなく、こちらが想定した金額よりも高いものであった。実際の入札においても入札金額に業者間で大きな差が見られ、極めて特殊な事業だったのではないかと考えている。</p> <p><input type="checkbox"/>行政事業レビュー公開プロセスにおいて廃止の判定がなされたため、関係者に丁寧に説明を行った上で事業規模を縮小したものである。</p> |
| <p>最低価格落札方式</p> | | |
| <p>⑥平成 28 年度水俣条約世界モニタリング計画協力・支援のための調査・検討業務</p> | <p><input type="checkbox"/>派遣業務と分析業務を分けて発注出来なかったのか。</p> <p><input type="checkbox"/>入札説明会に参加したものの、入札に参加しなかった業者があるが理由は把握しているか。</p> | <p><input type="checkbox"/>派遣に当たっての専門家との調整は内容面のやりとりが必要であり、このため分析業務と一体的に行う必要があったものである。</p> <p><input type="checkbox"/>入札条件である水銀対策に関する調査・研究又は研修の実績が無かったものである。</p> |
| <p>随意契約</p> | | |
| <p>⑦平成 28 年度酸性雨モニタリング推進業務</p> | <p><input type="checkbox"/>金額が平成 27 年度と比較して 2 割近く上がっている理由は。</p> | <p><input type="checkbox"/>平成 27 年度に新たに設置した国設の酸性雨測定所に係る精度管理のための費用及び土壌促成調査を追加したものの。</p> |
| <p>参加者確認公募方式</p> | | |
| <p>⑧平成 28 年度ジフェニルアルシン酸及びその関連物質を含有する地下水試料採取等業務</p> | <p><input type="checkbox"/>入札条件（ジフェニルアルシン酸及びその関連物質、または残留性有機汚染物質に起因する汚染地域において地下水分析のための試料採取を行った業務実績を有すること）が厳しすぎるのではないか。</p> | <p><input type="checkbox"/>飲料となる井戸水の分析を行うものであるため、データの信頼性を確保する観点からも必須である。</p> |

| | | |
|---|--|---|
| | <input type="checkbox"/> 昨年度よりも契約金額が高くなっている理由は。 | <input type="checkbox"/> 地元からの要請に基づきモニタリング用の井戸の抜管を行ったことによるものである。 |
| 不落・不調随意契約 | | |
| ⑨平成28年度地方公共団体及び地域金融機関に対する低炭素化プロジェクトの研修等委託業務 | <input type="checkbox"/> 金融機関向けの手引きが既にあるにも関わらず応札者が少ないのは何故か。 ■政策効果を見据えた執行となるよう期待する | <input type="checkbox"/> 再エネ事業を主体とした銀行向けの事業は高い専門性が必要であり対応可能な業者が限られてくるのではないかと考えられる。ただし、銀行の方々からすると、かなり汎用性の高い手引きとなっており、皆様に利用いただけるのではないかと考えている。 |
| ⑩平成28年度地球温暖化防止コミュニケーター等養成委託業務 | <input type="checkbox"/> 地域別に分割して発注した場合応札者が増えるのではないか。 <input type="checkbox"/> 入札説明会参加者が減っている理由は把握しているか。 <input type="checkbox"/> 応札者を増加させる方策は考えているか。 <input type="checkbox"/> 普及啓発事業を細分化することによって金額面での効果は出ているか。 | <input type="checkbox"/> 現在、地方に根ざしたものを作っている最中である。 <input type="checkbox"/> 委託事業の効果をわかりやすく確認するために、前年度まで行っていた普及啓発事業を細分化した。これによって業者に見合った条件等が合致しなかったのではないかと考えている。 <input type="checkbox"/> スキームが類型化する事業もあるため一般競争等に切り替えることも検討している。 <input type="checkbox"/> 全体の金額は変わっていないが、内容を増加させており、費用対効果は上がっていると考えている。 |